

# 妙高ネイチャープログラム (MNP) 指導者養成研修 妙高アドベンチャープログラム (MA) 指導者養成研修 妙高アドベンチャースキルアップ研修



今年度は、上記3つの研修指導員養成のための研修を実施しました。「新しい公共」の視点から昨年度から変更したところは、「研修指導員のニーズを研修に反映する」という点です。つまり、人から与えられる研修ではなく、研修指導員自らが作り出していく参加型の研修です。研修指導員の参画により、いずれの研修も例年よりも質の高い研修ができました。

MNP 指導者養成研修には、17名の方から参加いただきました。今年度は、学校の先生方にも参加を募ったところ、教材研修や事前学習としての参加もあったことから、ご利用の多い「小学校の利用団体」を想定して、学校の求めるニーズを踏まえながら、現地での研修を深めました。実際には、妙高火山学習、源流体験、藤巻山ブナ林学習、星座観察と、自然の家でご利用の多いプログラムを体験していただきました。MNP 指導者と学校の先生方が同時に研修を受講できたことで、お互いの思いを意見交換したり、児童への体験のさせ方や指導方策についての議論を深めたりすることができました。



MA スキルアップ研修には、15名の方から参加いただきました。プロジェクトアドベンチャージャパンから講師をお招きし、質の高い研修を実施することができました。参加者の方はすでに研修指導員として活躍いただいている方々ですが、さらに研修を深め、それぞれがもっている情報を共有することができました。まさに、参加者同士で刺激し合うことで、スキルアップすることができた研修となりました。

MA 指導者養成研修には、21名の方から参加いただきました。MA スキルアップと同様に、プロジェクトアドベンチャージャパンから講師をお招きし、参加者それぞれの立場で、高い意識をもって研修することができました。この研修を修了すると「妙高アドベンチャー」の指導者として活動することができ、コミュニケーション能力の育成が上げられ、年々利用者のニーズも高まってきています。そんな課題を抱える中で、まずは自分で「妙高アドベンチャー」を体験してみませんか？体験から学ぶことは多くあると思います。みなさんのご参加をお待ちしております。



# ボランティアの育成



「MYOKO ボランティア養成所」は、6月と8月の2回実施しました。今年度、例年と大きく改善したことは、妙高市教育委員会主催の事業と兼ねて共催で実施したという点です。研修期間の中で、我々自然の家職員その他に、妙高市教育委員会教育長、指導主事、民間の自然学校代表の方からも講義をいただきました。どの講義も、非常に具体的で質の高い内容でしたので、参加者はとも充実した研修を受けることができました。

参加者数は、2回の合計で86名になりました。その多くは大学1年生でしたので、より具体的な場面を想定しての講義や演習はとても有効であったと思います。アンケート結果の満足度の高さからも、今年度の研修が参加者にとっ



妙高市教委指導主事の具体的な「いじめ防止」の講義

て充実した内容であったということが伺えます。

特に具体的な内容であったのが、いじめ問題についての対応です。

「いじめに発展するまでに、小さな前兆がある。それを見逃してはならない」

参加者はこの言葉から、ボランティアとして子どもたちと接する時の「責任の重さ」を感じたと思います。ワークショップ型の演習の中では、お互いの意見を交換し合い、真剣に話し合っている姿が見られました。具体的な事例の検討から、実際の場面のイメージし、「自分だったらどうするか、どうすべきか」をそれぞれが考えを深めることができました。

実際、子どもたちが充実した活

動を楽しく行うためには、ボランティアスタッフの力は欠かすことのできないものとなっております。子どもたちの活動を充実するためだけでなく、活動の教育的価値を高めていく上でも、優秀なボランティアスタッフの育成は、最も重要なことと言っても過言ではありません。

そんな優秀なボランティアに支



えられ、今年度も妙高青少年自然の家で行われた多くの事業が、大変充実した活動となりました。この場をお借りして、自然の家の事業に参加していただいた、たくさんボランティアの方々には感謝いたします。

「おりがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願ひします。」

